

第2回進路希望調査より

第2回進路希望調査の提出、ありがとうございました。今回は、特別な事情の人を除いて、全員が期間内に提出することができました。2回目の進路希望調査ということで、夏休みに多くの人が学校説明会やオープンキャンパス、部活動体験に参加し、具体的な学校・学科・コースを記入している人が多く見られました。また、「〇〇高校と△△高校で迷っている」というように悩んでいる学校も記入してくれていました。

第3回進路希望調査は、10月終わりから11月上旬で提出してもらうことになります。第3回では、ほぼ進路希望を決め、それらを基に11月中旬の二者懇談（教育相談）で担任の先生と確認します。この段階でまだ決まっていなかった人や迷っている人は、保護者の方を招校し、二者懇談を三者懇談に拡大して、話し合います。

9月10日も積極的に学校説明会や部活動体験に参加し、自らの意志を固めてください。また、入試説明会が行われる学校もあります。入試に関する詳しい情報が説明されますので、できる限り参加することをおすすめします。

第2回進路希望調査で多かった記入間違い

1 受検（受験）できない希望順位で記入されている

例として、以下のような進路希望調査が提出されたとします。

3 1で「イ 進学」を希望した場合、以下の表を記入してください。

志望順位	設置者 公立 私立 国立	志望校名	学科・コース	受験形態・受検機会		学校見学 いずれかに ○をつける
				私立 推薦 専願 併願	公立 前期 中期 (後期)	
第1志望	公立	鳥羽	グローバル		前期	未
第2志望	私立	京都成章	アカデミー	併願		未
第3志望	公立	乙訓	普通		中期	未

現在の進路希望調査の学校を受験（受検）日順に並べると、

京都成章高校	併願	2月10日
鳥羽高校	前期選抜	2月16日
乙訓高校	中期選抜第1順位	3月8日

です。仮に、

京都成章高校	併願	合格
鳥羽高校	前期選抜	不合格

という流れとなり、中期選抜を出願する時に、乙訓高校を第1順位で書いた場合、

乙訓高校	中期選抜第1順位	合格
------	----------	----

という結果になったら、出願した公立高校を合格した場合は、必ず入学しなければならないので、最終入学高校は、「乙訓高校」になります。

先ほどの進路希望では、「乙訓高校」を中期選抜第1順位で受検することで、第2希望の「京都成章高校」に合格しているのに、第3希望の「乙訓高校」に入学しなければならない可能性があります。よって、進路希望順位が逆転してしまいます。

このようなことにならないように進路希望順位については、慎重に検討してください。不明な場合は、随時担任や進路指導まで確認してください。

※ 基本的に、一番下（最下位）に記入される進路希望校は「私立高校」になるはずです。

2 第1回進路希望調査と同じ記入間違いをくり返している

「学校名が正しく記入されていない」「生徒氏名と保護者氏名を自署していない」「学科・コースを間違えている」という3つの間違いを第1回進路希望調査で多かった記入間違いとして以前紹介しましたが、残念ながら今回も記入間違いのうち、半分以上がこれらの間違いでした。これらの間違いをくり返している人は、願書を記入する際に同じような間違いを犯してしまう可能性が非常に高いです。

「願書の時は間違えない」という人もいますが、これまで何度も卒業生に進路指導してきた経験から言えることは「進路希望調査をくり返し間違っ

て記入する人は願書も間違っ

て記入する」ということです。第3回進路希望調査の際は、記入間違いをくり返さないように細心の注意を払ってください。

職業学科等体験説明会を終えて

2日（金）6校時は、7校の京都府の職業学科や職業コースを設置している高等学校及び高等専門学校の先生をお招きして、「体験説明」を行っていただく「職業学科等体験説明会」を行っていただきました。

今回は、それぞれの学校でどんな授業が行われているかを紹介していただきながら、「その分野にはどんな職業があるのか」「それらの職業にはどんな力が必要なのか」ということを知ってもらいたいという想いで企画しました。

高校から職業学科を選択することで、その職業に向かって専門的な教育を受けられるので、はっきりと将来の希望が決まっている人にとっては、選択肢の1つとして考えてほしいです。また、普通科を選択しようとしている人も、自分の興味がある分野の職業を知ることで、高校から次のステップのところで進路を考える時に役立ててほしいです。

まだ中学生だから、とっと思っていても、あっという間に職業を意識した進路選択を迫られる時がやってきます。何も考えないまま、何となく進路を選択するよりも、「自分は〇〇がしたい」「△△のような道に興味がある」という考えを持って進路を考えられる方が目標が見え、意欲的に学ぶことができます。今から少しずつ将来のイメージを膨らませていきましょう。